

名称と時期 宝暦・天明期の文化 18世紀後半 ※宝暦・天明…ともに田沼時代の年号

1 化政文化 19世紀前半 ※化政=文化・文政…ともに家斉期の年号

☆両方あわせて「化政文化」と呼ぶ場合もある。

特色① 2 江戸の町人 中心の文化 ←江戸の経済発展

② 退廃・無気力・享乐的・遊戯的傾向 ←厳しい統制

③ 社会批判の学問 ④ 文化の地方伝播 ←出版、参詣の流行

小説の変遷と弾圧

※A系…文章中心、たまに絵

3 浮世草子 (元禄) から

B系…絵中心、すき間に文章

草双紙 (元禄) 中心の流行

<例> 赤本、黒本、青本

C系…文章重視 高い文学性(高級)

[I] 18世紀後半 宝暦・天明

A. 4 洒落本…遊里(吉原など)の世界 →寛政の改革で弾圧

「粋」「通」の文化 <例> 5 山東京伝 『6 什懸文庫』

B. 7 黄表紙…絵入り時事小説 風刺・世相批判も →寛政の改革で弾圧

<例> 8 恋川春町 『9 金々先生栄華夢』 『10 鸚鵡返文武二道』 山東京伝 『江戸生艶気樺焼』

C. (初期) 10 読本 <例> 11 上田秋成 (国学者) 『12 雨月物語』 『春雨物語』

[II] 19世紀前半 化政期

Aa. 13 滑稽本…庶民の生活・笑い 「野暮」の文化

<例> 14 十返舎一九 『15 東海道中膝栗毛』

16 式亭三馬 『17 浮世風呂』 『浮世床』

Ab. 18 人情本…町人男女の情愛 →天保の改革で弾圧

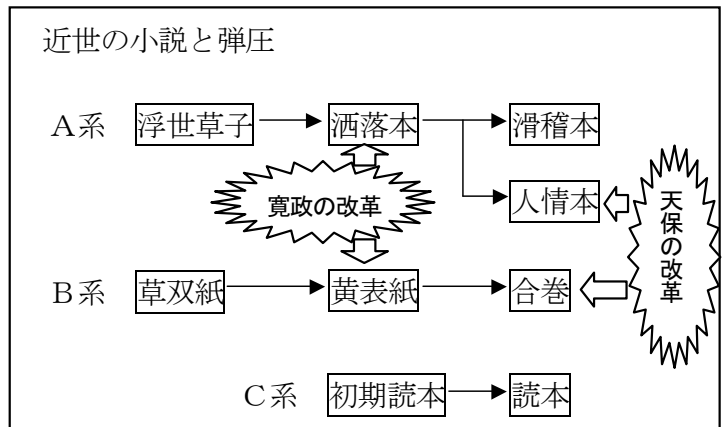
<例> 19 為永春水 『20 春色梅児誉美(梅暦)』

B. 21 合巻…絵入り長編小説(数冊の黄表紙を綴じ合わせる) →天保の改革で弾圧

<例> 22 柳亭種彦 『23 修紫田舎源氏』…将軍家斉と大奥を風刺?

C. 24 読本…勸善懲悪的

<例> 25 曲亭馬琴 『26 南総里見八犬伝』 『椿説弓張月』



その他の文芸 ☆背景に版元(出版業)の隆盛

<例>江戸の須原屋・耕書堂(葛屋重三郎) 貸本屋・瓦版(よみうり)など

俳諧 27 与謝蕪村 (撰津)…天明期 絵画的(画家でもある)・浪漫的 『蕪村七部集』

28 小林一茶(信濃)…化政期 農村の生活感情 『おらが春』 他に横井也有(『鶉衣』)ら

和歌 香川景樹(→桂園派)・大隈言道ら …古今調 一般には浸透せず

良寛(諸国行脚)、田安宗武(松平定信の父)、賀茂真淵ら …万葉調

30 川柳…前句付から発達(前句を略して五七五の付句が独立) 俳諧より自由 風刺や人情の機微

<例>『誹風柳多留』…点者(判定) 32 柄井川柳が初編を刊行

33 狂歌…短歌形式 風刺・滑稽 『万載狂歌集』(千載集のパロディ)

<例>34 大田南畝(=35 蜀山人、四方赤良)…御家人・作家

宿屋飯盛(石川雅望)…国文学者

☆戯作…知識人(絵師・旗本など)が余技的に著述した文芸 遊戯的(社会批判性が薄い)

芸能

人形浄瑠璃 30 竹田出雲 (大坂竹本座)…脚本 近松門左衛門の弟子

『仮名手本忠臣蔵』1748 『菅原伝授手習鑑』1746 など

33 近松半二(大坂)…竹田出雲の弟子 『本朝廿四孝』『妹背山婦庭訓』など

その後衰退、竹本座消滅(1772) →大坂で正村文楽が復活(1811) …文楽座

歌舞伎 江戸後期に発達…33 芝居小屋・様式など完成 <例>34 江戸三座(中村座・市村座・森田座)

七代目35 市川团十郎の歌舞伎十八番(『勧進帳』『助六』など)

作者 四世36 鶴屋南北(江戸)…脚本 凄惨な怪談物を得意とする 『東海道四谷怪談』1825など

並木五瓶『五大力恋緘』三世瀬川如皐『東山桜莊子』『与話情浮名横櫛』

38 河竹黙阿弥(江戸)…幕末～明治 白浪物(盗賊が主人公) ※明治には散切物

『白浪五人男』1862 『三人吉三廓初買』『鼠小紋東君新形』など

その他の芸能

歌浄瑠璃…人形から離れる 音楽の重視 <例>常磐津節、清元節、新内節、一中節

寄席(講談・落語など)、長唄、見世物小屋など

【正誤問題に挑戦】<センター1996本追試験より>

- ① 『春色梅児誉美』(『春色梅暦』)を著した人情本作家の為永春水は、天保改革期に、風俗を乱したという理由で処罰された。○
- ② 和歌から派生した狂歌では、大田蜀山人や宿屋飯盛が活躍し、また川柳では『誹風柳多留』(『俳風柳樽』)を選んだ竹田出雲が著名である。

3年[]組[]番[]

美術

[A] 1. 浮世絵…安価な版画で広く支持 最初は墨摺絵(+着色) パリ万博(1867)を機に西洋で流行
…ジャポニスム <例>マネ・モネ・ゴッホら 西洋印象派画家へ影響を与える

田沼期: 2. 鈴木春信 … 3. 錦絵創始[1765] 4. 美人画 <例>「弹琴美人」
(18世紀後半) …多色刷の版画浮世絵
絵師→彫師→摺師の高度な技術

寛政期: 5. 喜多川 歌麿 … 6. 美人画の 7. 大首絵(上半身を大きく描く)
(1800年前後) <例>「婦女人相十品」(「ポッピンを吹く女」など)

8. 東洲斎写楽 … 9. 役者絵・相撲絵に活躍 大首絵
<例>「市川鯉蔵」「中山富三郎」
「大谷鬼次の奴 江戸兵衛」

化政期: ☆風景版画の流行…諸国の名所を紹介
(19世紀前半) 10. 葛飾北斎 … 「11. 富嶽三十六景」(「神奈川沖浪裏」「凱風快晴」他)
「北斎漫画」(絵の手本)

12. 歌川(安藤) … 「13. 東海道五十三次」[1833]、「江戸名所百景」、「近江八景」他
他にも、鳥居清忠・清長、歌川豊国(役者絵)・国貞・国芳(武者絵)ら多数の浮世絵画家

[B] 14. 文人画(南画)…文人・学者の余技、明・清の南画(南宗画)の影響

<例>「15. 十便十宜図」…京都 16. 池大雅 … 17. 与謝蕪村
☆十便十宜詩から 十便を大雅、十宜を蕪村が作画。

18. 谷文晁…江戸文人画を創始 狩野派・円山派・南画などを摂取

19. 田能村竹田(豊後) …文晁の弟子 画論『山中人饒舌』

20. 渡辺華山 …田原藩家老・蘭学者 文晁の弟子 「21. 鷹見泉石像」「一掃百態」(日常生活を描く)
ほかに、祇園南海、柳沢淇園、服部南郭、浦上玉堂、酒井抱一

[C] 写生画…写実を重んじる日本画の流派 京都中心

22. 円山応挙 …遠近法・片ぼかし <例>「23. 雪松図屏風」「保津川図屏風」 →円山派

24. 呉春 (松村月溪) …蕪村・応挙に師事、叙情的 <例>「柳鷺群禽図屏風」 →四条派

[D] 西洋画

25. 平賀源内が長崎で画法(油絵)を学ぶ →「26. 西洋婦人図」 →浮世絵や文人画にも影響

→ 秋田蘭画派…佐竹曙山(秋田藩主:義和の父)・小田野直武(『解体新書』の挿絵)

27. 司馬江漢 …蘭学者(良沢の弟子) 日本初の28. 銅版画[1783] <例>「29. 不忍池図」「三囲景図」

30. 曲政堂田善…松平定信に出仕し谷文晁に学ぶが、洋画や銅版画へ <例>「31. 浅間山図屏風」

生活文化と信仰

[A] 庶民の生活と民間信仰

33 縁日 (神仏に由緒ある日に) 34 開帳 (秘仏などの公開) 勸進相撲 }
35 富突 (富くじ) <例> 三富 (谷中天王寺・目黒不動・湯島天神) } → 寺社が維持費などにあてる

祭礼 <例> 江戸二大祭 (神田祭、山王祭)、日本三大祭 (神田祭、祇園祭、天神祭) など

参詣 <例> 伊勢神宮 (ほぼ60年ごとに爆発的に…³⁶ 御蔭参り) ←
金毘羅宮、善光寺、成田山 (新勝寺)、身延山 (日蓮宗総本山久遠寺) など

37 巡礼 <例> 西国三十三カ所 (観音信仰)、四国八十八カ所 (弘法大師信仰 “お遍路”)

講…信仰等のための団体 <例> ³⁸ 庚申講 (民間信仰 60日ごと徹夜で飲食)、富士講・伊勢講 など

行事 <例> 五節句 (人日・上巳・端午・七夕・重陽)、彼岸会 (春分・秋分前後)、

³⁹ 盂蘭盆 (祖先供養)、日待 (特定の日の出を拝む)・月待 (特定の月の出を待つ)

その他 銭湯、湯治 (温泉治療)、「名所図会」(名所旧跡の案内 <例> 都、尾張、江戸、摂津) の流行
髪結床、若者組・娘組、獅子舞・万歳、など

[B] ⁴⁰ 教派神道…神道系の民衆宗教 (病氣平愈など) ← 社会不安

⁴¹ 黒住教…⁴² 黒住宗忠 (備前) [1814]、⁴³ 天理教…⁴⁴ 中山みき (大和) [1838]、

⁴⁵ 金光教…⁴⁶ 川手文治郎 (赤沢文治) (備前) [1859]

※明治以降、神社神道と区別した呼称

【正誤問題に挑戦】<センター1999 追試験B、1993 年追試験より>

- ① 司馬江漢は、西洋画の技法を取り入れた「西洋婦人図」を描くとともに、エレキテルを製作した。
- ② 伊勢神宮への参詣が盛行し、お蔭参りの年には、数百万人の参宮者があったという。○

蘭学の発達 ※名称…蛮学(“南蛮”から)→蘭学(オランダ中心)→洋学(幕末:英仏も加わる)

- ☆西洋人の来日 <例>ケンペル・ツンベルグ・シーボルトら →帰国後、日本を紹介
 - 1775. 来日 スウェーデンの医師・植物学者 『日本植物誌』
 - 1690. 来日 ドイツ人医師 『日本誌』(付録に「鎖国論」…志筑忠雄が翻訳)

[I] 『解体新書』(1774)以前…蘭学の誕生前夜

- 新井白石とシドッチ (1709. 密入国)を尋問→『西洋紀聞』(極秘)『采覧異言』(将軍に献上)
- 吉宗の実学奨励 漢訳洋書の輸入制限緩和(1720)
 - 西川如見(天文学者・長崎通詞『華夷通商考』1695)を招く
 - 1. 青木昆陽(儒学)・2. 野呂元丈(本草学)にオランダ語を学ばせる
- ☆3. 平賀源内 (1728-1780)…本草学者(『物類品隲』)他にも様々な分野で活躍
 - <例>エレキテル・寒暖計・石綿(火浣布)・洋画・鉾山開発(秋田藩など)・滑稽本・浄瑠璃脚本 等々

[II] 蘭学の誕生：18世紀後半～19世紀初

(A) 医学・語学

- 『4. 解体新書』1774. …『ターヘル・アナトミア』の翻訳 西洋医学の紹介
 - 5. 杉田玄白・6. 前野良沢・中川淳庵・桂川甫周ら
 - 苦心談→のち『7. 蘭学事始』1815
 - ツンベルグと交流
- 8. 大槻玄沢 …医師 玄白・良沢の弟子 私塾9. 芝蘭堂[江戸]1786
 - 『10. 蘭学階梯』1788…蘭学史とオランダ語入門 オランダ正月(太陽暦での新年会)
 - 弟子11. 稲村三伯 …医師 『12. ハルマ和解』1796. 初の蘭日辞典 「江戸ハルマ」
 - ※「長崎ハルマ(ズーフハルマ)」…1816. オランダ商館長ズーフが編纂
- 13. 宇田川玄随…甫周の弟子 『西説内科撰要』(1792. 翻訳)
 - 華岡青洲…全身麻酔による世界初の乳ガン手術に成功(1805)

(B) 天文学・暦学・測量

- 本木良永(通詞)…『和蘭地球図説』『天地二球用法』(1774) コペルニクスの地動説を紹介
 - 弟子14. 志筑忠雄 (通詞)…『15. 曆象新書』(1802訳)ケプラーの法則やニュートン力学を紹介
- 麻田剛立(豊後→大坂:医師) 独学で天文学 日食予測、暦の誤りを指摘、太陽の黒点や月面の観測など
 - 弟子16. 高橋至時 (幕府天文方)・間重富 …幕命で 寛政暦を作成(1797)
 - 弟子17. 伊能忠敬 …下総の商人 地理学者 …幕命で全国測量(1800～17)
 - 『18. 大日本沿海輿地全図』(没後の1821年に完成 軍事的理由で秘蔵)

[Ⅲ] 蛮書和解御用(1811)以降…蘭学の発展と幕府による弾圧

1811. 幕府、¹⁹ **蛮書** ^{わげごよう} **和解御用** 設置…翻訳局 ²⁰ **高橋景保** ^{かげやす} (至時の子：天文方)の建議
 <例>百科事典『厚生新編』 →洋学所 →蕃書調所 →…開成所

1823. ²¹ **シーボルト** 来日(1823)…ドイツ人医師 帰国後『²² **日本**』を著作

²³ **鳴滝塾** [長崎]創設(1824) →高野長英、小関三英、伊東玄朴ら

1825. 無二念打払い令

1828. ²⁴ **シーボルト事件**…帰国時に日本地図など所持→国外追放、**高橋景保** 獄死、弟子50人処罰

1837. ^{うだ} **宇田川榕庵** ^{せいみ} 『**舎密開宗**』 翻訳 化学書 ※舎密は化学(ケミストリ)の訳語

1838. ²⁵ **適塾** (適々齋塾) [大坂]…²⁶ **緒方洪庵** の私塾 →橋本左内、大村益次郎、福沢諭吉ら

1839. ²⁷ **蛮社の獄** …^{ただあき} **鳥居忠耀** (町奉行)ら幕府保守派による蘭学者の弾圧

<例> ²⁸ **渡辺崋山** (田原藩家老・洋画家) ・ ²⁹ **高野長英** (陸奥出身・町医者)

…³⁰ **尚歯会** (蘭学者グループ)への蔑称 他に、江川英竜・川路聖謨・小関三英ら

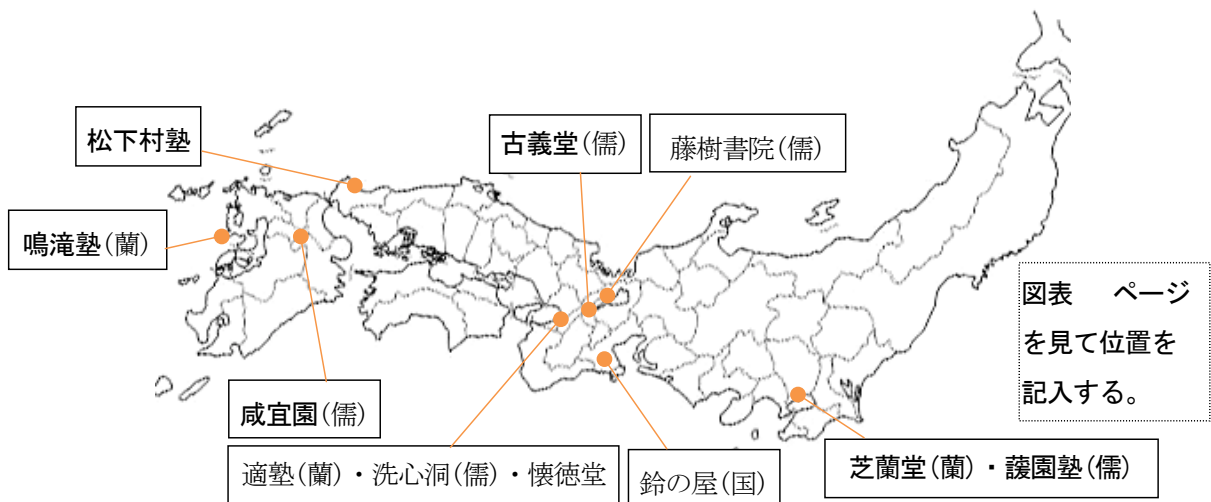
1842. ³¹ **高島秋帆** ^{しゅうはん} の投獄・幽閉 ※鳥居ら幕府保守派による弾圧

…西洋砲術の研究 徳丸ヶ原で練兵(公開演習)1841.

弟子 → **江川英竜** (伊豆韮山代官) → ³² **佐久間象山** ^{しゅうざん} (信濃松代：開国論) →吉田松陰・勝海舟ら

1846. ^{げんぼく} **伊東玄朴**…**牛痘**の接種に成功(天然痘の予防) →**種痘所**設置(1853. 民営)

→1860. 幕府に移管→**医学所**(1861)



【正誤問題に挑戦】<センター1994 追試験より>

- ①志筑忠雄は、『曆象新書』を著して、ニュートンの力学やコペルニクスの地動説を紹介した。○
- ②大槻玄沢は、『蘭学階梯』を著すなど、蘭学の普及につとめた。○

教育の普及 ※私塾も多数

1. 寺子屋(手習所)…18世紀以後増加 全国各地に 実用教育(読み・書き・そろばん)

僧侶・神職・医師・町人らが教師 教科書は『庭訓往来』など

2. 藩校(藩学)…藩士の教育施設 18世紀以降急増(主に朱子学)

<例> 3. 花鳥教場 (岡山/池田) ※最近では池田光政に仕えた熊沢蕃山の私塾とする説が有力

明徳館(秋田/佐竹)、養賢堂(仙台/伊達)、興譲館(米沢/上杉)、日新館(会津)、弘道館(水戸)、
明倫館(萩/毛利)、修猷館(福岡/黒田)、時習館(熊本/細川)、造士館(鹿児島/島津)

4. 郷学(郷校)…庶民教育の施設

<例> 5. 閑谷学校 (岡山 1668)、含翠堂(摂津平野 1717)

6. 懐徳堂 (大坂 1724)…大坂町人の出資 儒学など →中井竹山・富永仲基・山片蟠桃ら



図表207ページを見て
上記の藩学・郷学の位置
を記入せよ。

さまざまな学問の発達

A 儒学 朱子学…幕府が正学として保護 <例> 7. 昌平坂学問所 8. 寛政異学の禁(1790)

考証学派…客観的な原典研究 松崎慊堂・安井息軒ら

折衷学派…諸説にこだわらない 片山兼山・細井平洲・太田錦城ら

9. 広瀬淡窓…私塾 10. 咸宜園 (豊後日田) →高野長英・大村益次郎ら

B 11. 尊王論…天皇を崇拝する思想 ←朱子学(大義名分論)・国学・水戸学

12. 竹内式部(越後)…神道家 京都で尊王思想を説く →追放[1759] (13. 宝暦事件)

14. 山県大弼(甲斐)…兵学家 『柳子新論』 江戸で幕政批判→死罪[1767] (16. 明和事件)

高山彦九郎 (1793自殺)……※林子平と合わせて「寛政の三奇人」と呼ばれる

蒲生君平(天皇陵墓調査『山陵志』1801) 頼山陽(『日本外史』1827)

……※竹内も八丈島流罪に

☆17. 水戸学…『18. 大日本史』編纂を通じて 幕末の尊王攘夷思想へ

<例>藤田幽谷 →子19. 藤田東湖(1855. 安政大地震で死亡)、弟子20. 会沢安(正志齋)

……『大日本史』編纂に参加……… 徳川斉昭が重用 …………… 『新論』1825

C 21. 心学(石門心学)…正直・儉約など生活倫理を平易に説く

22. 石田梅岩 (京都：農民出身) が1730頃に創始 『都鄙問答』1739

→弟子23. 手島堵庵(京都)『男子女子前訓』 →弟子24. 中沢道二(関東へ)

D²⁵ ^{けいせい}経世論(経世済民論)…幕藩体制の改革を主張 [化政期]

- 26 ^{もと}本多利明(越後)…貿易振興 『^{さいい}西域物語』(西欧を模範) 『²⁸経世秘策』(1798. 開国交易)
29 ^{かいほせいりょう}海保青陵(丹後)…重商主義政策(専売制など) 『³⁰稽古談』(1813 倭約の否定)
31 ^{のぶひろ}佐藤信淵(出羽)…全産業の国有化 『農政本論』(1829. 農村の改良) 『経済要録』(1827)

E³³ 国学…日本古来の道(思想)を追求 ←古典研究(〈例〉契沖 [元禄])

- 34 ^{かだのあずま}荷田春満…京の神官出身 強い国家意識 外来思想の排斥 『創学校啓』を幕府に提出
35 ^{かものまぶち}賀茂真淵…遠江の神官出身 春満に師事 古道(古代人の生活・思想)への復帰
『³⁶国意考』(1765) 『万葉考』

- 37 ^{もとりのりなが}本居宣長…真淵に師事 伊勢松坂の医者 国学を大成
『^{からごころ}漢心』(儒教、中国崇拜)を捨て、『^{まごころ}真心』(自然の心情)を尊ぶ
文学の本質は道徳的規範ではなく「^{もの}もののあはれ」(ありのまの感情)

『^秘秘本玉くしげ』(政治論) 『^{たまのおくし}玉小櫛』(源氏物語の注釈)、
『³⁸古事記伝』(1798. 付編は『^{なほびのみたま}直毘霊』)、『玉勝間』(随想)、私塾 鈴の屋

- 39 ^{はなわほきいち}堀保己一…真淵の弟子 古典の収集・保存 ※7歳で失明 40 ^{和学講談所}和学講談所創設(1793)
→『^{ぐんしよるいじゆう}群書類従』編纂…古代・中世の図書の整理・分類 正編530巻、続編1150巻

- 42 ^{ひらたあつたね}平田篤胤…排他的な復古主義・国粹主義 『古史徴』『古史伝』(1811)など

43 ^{復古}復古 神道…古代の純粋な民族信仰の復古(→幕末の尊王攘夷思想に影響)

他に44 ^{ぼんのぶとも}上田秋成、村田春海、加藤千蔭、^{ひこばえ}伴信友(厳密な文献考証 随筆『比古婆衣』)

F その他…さまざまな階層・地域から

- 45 ^{あんとう}安藤昌益(八戸)…医者 『統道真伝』 『⁴⁶自然真常道』 1753 →大部分は出版せず
身分制の否定(男女も平等)→“万人直耕の自然世”を理想

三浦梅園(豊後)…医者・哲学 宇宙の全事物を説明 『玄語』『贅語』 1774

- 47 ^{なかもと}富永仲基(大坂)…町人・懐徳堂出身 儒教・仏教・神道を批判 『⁴⁸出定後語』 1744

- 49 ^{やまがたぼんとう}山片蟠桃(大坂)…町人・懐徳堂出身 無神論(無鬼論) 『⁵⁰夢の代』 1820

^{ますみ}菅江真澄(三河)…東北各地を遍歴(1783-1829) 農村生活の記録 『菅江真澄遊覧記』

- 51 ^{ほくし}鈴木牧之(越後)…商人出身 『⁵²北越雪譜』(雪の観察記録と雪国の生活 1837)

- 53 ^{おおくさ}大蔵永常(豊後)… 『⁵⁴農具便利論』(1822) 『⁵⁵広益国産考』(1859)

- 56 ^{にみやうとく}二宮尊徳…相模の農政家→関東各地で農村復興(報徳仕法) 勤労・倭約の強調

- 57 ^{おほしげ}大原幽学…尾張藩士→下総国長部村に土着 農村改革 土地の共有化 →1858自殺

【正誤問題に挑戦】〈センター1995追試験より〉

- ①海保青陵は、『農具便利論』を著して農民に増産に励むことを勧めた。
②山片蟠桃は、『稽古談』で、利殖の道が商人の道であるとした。